



田中秀樹・倉富 優 著

デンタルオフィスナビゲーション 歯科衛生士って素敵な仕事 1週間・1年・3年

(関)フィロソフィア 徳永歯科クリニック (福岡県宗像市) /
徳永哲彦



B5判 / 112頁
定価 3,360円
(本体 3,200円 + 税 5%)
医歯薬出版刊
(2010年6月発行)

本書を手にし、そのわずか1ページの巻頭言を読んだだけで、私は田中秀樹先生がチームワークに優れた素晴らしい歯科クリニックをつくり上げることができた理由がわかった気がしました。そこには田中先生の歯科衛生士に対する愛情が満ちあふれていたからです。そして、一気に最後まで読んでしまった私は、感動的な小説を1冊読み終えたような感覚をおぼえました。

歯科医療はまぎれもなく「チーム医療」です。それぞれの職種が個人のスキルを高めることも大事であり、お互いを尊敬し、助け合うことも重要です。そして、そこにはチームの監督であり、リーダーである歯科医師の個性が大きく影響します。本書を読み、歯科医師が広い視野と技術をもち、患者さんやチームスタッフにかぎりない愛情を注ぎ続けることが「チーム医療」におけるもっとも重要なことなのだとあらためてわかりました。

歯科衛生士の方のなかには「そうそう、うちが院長に問題があるのよね」と思われた方

もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、本書の第1章、第2章に書いてあるように、「完全無欠の歯科医院」というものは存在しないのです。一人ひとりがすこしでも理想の医院に近づけるよう前向きに努力していくことこそがチームづくりの基本であり、それを継続していくことが医院全体の力を引き上げていくのです。

そういった意味では、本書はいかにも歯科衛生士向けの本のようなのですが、実は働きやすい職場や魅力的な歯科医院をつくっていくためのバイブルなので、院長にもぜひ読んでほしいと思います。院長からのメッセージや歯科衛生士の目標を書き込む欄があるのもそのためです。院長は歯科衛生士の数だけ購入し、メッセージを書き込んで渡してください。あなたが歯科衛生士なら、院長にも読んでもらい、相互の理解を深めるために活用してください。

歯科衛生士が社会人として医療人として、またチームの一員として成長し、多くの患者さんと心からのおつきあいができるようになったとき、公私ともに「歯科衛生士って素敵な仕事」と思える日がきます。この本はその日のために1週間、1年、3年、それ以上と、それぞれのポイントでの、きめ細やかなアドバイスが書かれており、そのときどきに読み返すことで自分の目標や成長を再確認したり、反省したりしながら「素敵な歯科衛生士」になっていけるように構成された「素敵な本」です。ぜひ、必携の1冊にしてください。